

岡本博物誌 第6回「文学の中の岡本」

宮本輝と村上春樹の作品から

秋の気配はまだ遠いですが、読書特集です。第1号(4月号)で少しだけふれましたが、谷崎潤一郎の『細雪』には、住まいのあった岡本付近の様子が描かれています。他にも岡本の街の描写が出てくる現代作家の作品を紹介してみます。

宮本輝が『螢川』で芥川賞をとった4年後に発表した『青が散る』は、阪神間を舞台に青春期と真ん中のドラマを正面から書ききった作品です。後に団塊と呼ばれる世代が生きた時代でしたが、実際に大学でテニスに熱中した作者の体験もベースになっています。以下は、病気になったテニス仲間の家を主人公たちが訪れる場面です。

《久しぶりに逢いたいからこないかという安齋の誘いで、療平は金子にその由を伝えて、阪急電車の神戸線に乗った。岡本駅に着いたのは朝の九時過ぎで、約束の十時にはまだ時間があったので、駅前の喫茶店でホットミルクを飲んでから、古い屋敷の建ち並ぶ急な坂をのぼって行った。

手広く貴金属店を営む安齋家は、丈の高い分厚い漆喰壁の塀で広い屋敷全体を囲んでいた。塀の上部にはきちんと瓦が詰まって、そこから何本かの庭木が見えていた。どの樹もよく手入れされて、烈しい雨の中で黒ずんでいた。

「ごっつい家やなァ……」

療平は門柱に掛かっている表札に見入りながら思わずそうつぶやいた。雨は、駅に着いたときよりも、いっそう強く降ってきていた。》

夢を追う日々の生硬な体験と、恋愛の甘い痛覚が

瑞々しく表現されているとともに、病というものへの作者自身の深い思いも込められているようです。宮本さんはあとがきで次のような言葉を残しています。

《テニスだけに明け暮れた、単純と言え言えるそんな四年間の中にも、やはり幾つかの風や波は襲って来ました。／ですが、そんな悲哀や不安や絶望や焦燥などは、なべて若さという不思議な力の中に吸い取られて、しかも決して消えることなく個々の心の奥にひっそり沈殿して言った時代があった。》

次は神戸高校を卒業後阪神間と離れ、のちに長編作家になった村上春樹です。彼のデビュー作『風の歌を聴け』には、芦屋の打出にある「お猿の公園」(いまサルはいません)が出てきますが、平成10年に発刊された『辺境・近境』が文庫になるときに収録された「神戸まで歩く」です。小説ではなく紀行文風のエッセイですが、震災後に自分の育った街の現状と出合うスリリングな体験を書いています。



阪急岡本駅と石畳の路

《となりの阪急岡本駅に着いたら、そこでどこでもいいから喫茶店に入ってモーニング・サービスの朝食でも食べようと思う。考えてみれば朝から何も食べていないのだ。でも実際には、朝から開いている喫茶店なんてどこにも見あたらなかった。そうだ、ここはそういう種類の町ではないのだ。しかたなく国道沿いのローソンでカロリーメイトを買い、公園のベンチに座ってひとり黙々とそれを食べる。そして缶入りのコーヒーを飲む。これまでの道のりで目にしたものごとについてのメモをとる。それから一服して、ポケットに入れてきたヘミングウェイの『日はまた昇る』の続きを何ページか読む。高校時代に読んだ記憶があるのだが、ふとした^{いきさつ}経緯でホテルのベッドの中で再読することになり、すっかり夢中になってしまった。どうして昔はこの小説の素晴らしさがわからなかったのだろう。そう思うと、なんだか不思議な気がする。たぶんなにか別のことを考えていたのだろう。》

ここに出てくるローソンは、山手幹線沿いの店のことでしょう。短い文章ですが、村上春樹が想像力の物語世界から少し向きを変え、歴史や社会的事件へ関わるようになるプロセスの中にあって意義のある作品だと思われます。



山手幹線を西向きに

岡本人物散歩 ⑥

非日常の空間で“新しく懐かしい”味覚を

えんじょう おさむ
遠城 靖さん

雑誌やネットの紹介記事ですと、“古くて新しい魅力の街・岡本で静かに熱くファンの輪を広げる「日本茶カフェ一日（ひとひ）」！”といった書き出しでしょうか。お店の場所は岡本駅から石畳の道を下りきって、フェスティバル通りを東へまっすぐ行った海側のビルの2階です（本山北町3丁目）。具材を吟味した味噌汁やお茶漬けのほか、甘党の人も楽しめるメニューが用意されています。慌しく過ぎる日常を離れ、身体がじっくり馴染む空間。茶釜で沸騰させた湯で淹れる煎茶を心ゆくまで味わうことができます。

企業で経験を重ねたうえで、思うままご自分の夢と価値観を追求できる道を選んだ遠城さん。岡本という街を見込んでこのお店を始めました。しっかりマーケティングや、コンセプト固めを行った上での出店でした。

「岡本は古いだけの街ではないし、若者だけの街でもない。街を行き来する人の年齢層も、生活文化の嗜好も、とても幅があると思います。お客様には日本茶の楽しさ・豊かさを感じていただきながら、ここで“古くて新しい”味覚やライフスタイルと出会っていただければ嬉しいです。この個性的な街の一角に、自分なりの個性を



加えられればいいと願って、室内のデザインもインテリアの選択もプロの提案を得ながら徹底して考えました」

茶葉は静岡・宇治・八女・嬉野から、ブランド性だけでなくそれぞれの特徴と商品価値を選んで仕入れています。頑固な孤高のヒトかなと思いましたが、商店街の人々ともよくお付き合いし、さりげなく茶目っ気もあり、面白さは無尽蔵？

神戸の本あります



ギャラリールピナスは目と心で楽しんでいただくための場所。その一環として地域文化についての読書や調べモノ用の図書を常備しています。ご閲覧は自由。真夏でなければ、サンルームや庭で気兼ねなくくつろいでください。主に神戸新聞社・神戸新聞出版センターが刊行した古い本を置きっぱなしにしています。



- (例)『人と文化と都市』戸谷松司(前兵庫県副知事)・
『兵庫の絵はがき』のじごく文庫・『えほん・コウベ』広瀬安美・
『旅情 瀬戸内海』布田源之助=海天堂・
『野の花101話 阪神間で見つけた小さな花たち』岡本高一・
『灘の話』中尾近彦・『えほん 神戸の港と船』倉掛喜八郎・
『ワンドフルコウベ』・『阪神市電物語』コウベ新聞社会部編・
『天の浮橋 ひょうごの神々を追う』寺村峻(文)/梶田幸恵(版画)
『六甲山の昆虫たち』高橋寿郎・『ひょうご文学歳時記』宮崎修二郎・
『こうべ自然誌 生き物たちとの12ヵ月』田中梓



身近で楽しく学べる本物の技術とセンス ルピナス遊学サロン

毎日通り抜ける岡本の街に小さいけれど確かなカルチャー教室とギャラリーが生まれました。
ご一緒に面白くて心地よい充実した時間を過ごしましょう。

講師・教室紹介

ライフ オーガナイザー

大黒裕佳子さん

片づけのノウハウ…
でも「捨てること」から
考えないで



- ①まず考え方の整理から(一般論は無視して土台作りを!)
 - 何のために片付ける? 自分の好きな部屋のイメージは?
 - 自分の暮らしに大切なコト・優先したいコト・心地いいコトの確認
 - 自分にとってラクな片付け方法を発見する
- ②得意を生かし苦手を手を軽減(ストレスを解消し気持ちをラクに!)
 - “利き脳”で知る片付けの方向性や見取り図
 - モノより人(使い勝手)優先で道具や器具を分類
- ③考えの整理ができたなら作業を開始!
 - 全てのモノの分類 → 使いやすく片付けやすい場所に配置
 - 改善した状態を無理なくキープ



ライフ オーガナイズは、1980年代にアメリカで生まれた整理術です。

「あなたにとって気持ちがよくて
片づけしやすい仕組みづくり」

ギャラリールピナス

〈展示〉も自己表現です

(11:00~17:00)

小さく温かいスペース 作品に近づける時間
最小限のコスト…… 言葉を交わせるギャラリー

- ☆壁面と平台が使えます(スポットライト)
- ☆教室同様、気軽なお茶のセルフサービスができます
- 5日間 毎月 10日までの5日間
- 20日からの5日間 30,000円

お問い合わせ・お申し込み



ルピナス



〒658-0072 神戸市東灘区岡本1丁目11-18 甲南ライフ402
TEL・FAX.078-451-0418(10時~17時 日曜除く)
<http://lupinus-yugaku.com>
E-mail : info@lupinus-yugaku.com



キャンパス通り「甲南そば」ビルの4階 ☆すみません! そばの階段を上ってください



ルピナス遊学サロン

9月の教室スケジュール

申し込み法・料金支払い法

お電話で(午前10時~午後5時 日曜除く)

078-451-0418

参加料お支払いは当日受付へ



講義・講師ガイド

いつからでも参加できます!

心を癒す暮らしのアクセサリー制作

~サンキャッチャー、スワロフスキー風、クリスタルビーズ~



相原由子
(装飾デザイナー・整体師)

4日(水)・18日(水)・25日(水)
10:00~12:00/13:30~15:30
料金: レッスン1回 2,100円

— 光と虹をあなたのお部屋に導き入れるサンキャッチャーを、実用的なインテリアとして作ってみましょう。レッスンは ①ストラップ、キーホルダー仕様のSC ②車、卓上に併用できるSC ③室内用のSCの3回コース。フリーでのアクセサリー作りもできます

気持ちがラクになるお片づけ講座

~“捨てる”から始めないライフオーガナイズ~



おおくろ ゆかこ
大黒裕佳子
(パーソナルカラーラボ[ラシーヌ]主宰)

2日(月) 10:00~11:30/14:00~15:30
料金: レッスン1回 2,000円

ご自分に合った片づけ法を見つけましょう!

— あなたはどんなお部屋で暮らしたいですか? 「利き脳片づけ術」として、いま話題のライフオーガナイズ。ご自分の利き脳や行動パターンを知り、暮らしをラクにする仕組みづくりと一緒に考えていきましょう。

スタイリストが教えるアクセサリー講座

~自分に似合うアクセサリーを作って着こなしも学べる~



浅野千絵
(COLOR CROWN 主宰)

3日(火)・17日(火)
10:30~12:00/13:00~14:30/15:00~16:30
料金: レッスン 3,000円
アクセサリー作り材料費 1,500円

— タレントさんのスタイリング、現場のスタイリスト養成のキャリアもいかしながら、技術もセンスも惜しみなくお伝えします。①アクセサリー作り ②アクセサリーレッスン ③着こなしレッスン この3回シリーズのレッスンです。

季節のステキ! フラワーアレンジメント

~センスをいかす生花、造花、長く美しさを保つプリザードフラワー~



じょういち まゆみ
城市真由美
(日本フラワーデザイナー協会 講師)

19日(木) 13:00~15:00
料金: レッスン1回 3,000円(材料費別)

— 企業の第一線でお花のデザイナーとしてお仕事をしてきました。多彩で応用の利くフラワーデザインの技法とセンスと一緒に磨き、広く深く日々の暮らしに活かしていただきたいと思います。美しい季節のうつろいを生活空間に定着させる——その一瞬ごとの楽しさを!

指先キレイ! 簡単・楽しいセルフジェルネイル

~幸せは指先から! —ハイクオリティで遊び心満点の実用ネイルアート~



岡村 愛
(ネイル&アイラッシュサロン
[lealea]オーナー ネイリスト)

16日(祝) 13:00~15:00/16:00~18:00
料金: 体験レッスン 2,000円
通常レッスン 3,000円(教材費込み)

— 幅広い年齢層で支持されているネイルの世界ですが、美の価値観から安全・衛生面にいたるまで、本物を見分ける力が大切です。セルフジェルは指先を美しく見せる以外に、乾燥や欠け損ねから爪を守る役割も。日常の中でネイルの美しさ・楽しさと健康を思う存分追求してください。

真珠屋さんのパールアクセサリー&リフォーム

~優雅でハイセンスな淡水パールのオリジナルアクセサリー~



しょしね こうじ
所神根孝二
(神戸パールコレクション代表)

28日(土) 10:00~12:00/13:00~15:00
料金: レッスン1回 2,100円(全材料費別)

— アクセサリーの素材となる真珠そのものの品質とともに、デザインセンスや制作技術のオリジナリティとクオリティを追求してきました。真珠がもつ無限のイメージとともに。一人ひとりの女性のもつ個性と美しさをどこまで自然に引き出せるかが私の課題。発見・驚き・感動をご一緒に!

KaQiLa ~カキラ~

~お体の悩みに即効性あるエクササイズを~



柴田牧子
(THD JAPAN)

12日(木)・26日(木) 10:30~11:30
料金: 体験レッスン 1,000円
通常レッスン 3,600円(月2回分)

— 恵まれた環境の中で素敵なお会いを! 腰痛改善、肩こり解消、股関節の稼働域アップなどヨガスタイルの優雅な動きで体の芯からほぐし、ご自身の“呼吸”で風通しの良い体をつくっていきます。



さらにかりキュラムの 充実を図ります。

楽しく学べる時間の創造を!

お申し込みはお気軽に!

(午前10時~午後5時 日曜除く)

TEL: 078-451-0418

E-mail: info@lupinus-yugaku.com

